

秘伝！黒岩流“反撃”銘柄

フィスコ 株式リサーチ部長 黒岩 泰

デイリーレポート 3月3日号

- * レポートに記載された銘柄及び買い、売りポイントの価格は、指値、成行きにかかわらず、お客様に売買注文の執行、売買を指示するものではありません。投資行動におけるあらゆる最終的な判断は、お客様ご自身で行ってください。
- * お客様に投資パフォーマンスをお約束するものではありません。
- * 想定パフォーマンスは計算上のものであり、実際のパフォーマンスとは異なります。また同様の投資成果をお客様に保証するものではありません。
- * 銘柄選定、目標株価はテクニカル分析から算出します。

このレポートは2005年3月3日に制作しました。

このレポートに関するお問い合わせは下記までお願いいたします。
TEL: 03-5212-8770 (お客様コール) E-Mail: support@fisco.co.jp

レポート概要

東証1部時価総額上位50銘柄をユニバースとし、その中から、毎日黒岩流の理論に合う銘柄を選出し、特に妙味の高い5銘柄について買いポイント、売りポイントの価格をお伝え。この価格間での利益を積み重ねることで、累計50%の想定パフォーマンスを目指します。

流動性があり、売買のしやすい銘柄を選びます

平成18年2月13日の終値から算出した東証1部時価総額上位50銘柄の中から銘柄を選出。だれでも知っているような銘柄を使って「安値で買って高値で売る」株式投資における理想的な売買を提案します。

毎日5銘柄を紹介

50銘柄の中から、黒岩流の理論に合う5銘柄を厳選し、お伝えします。

買い、売りのポイントとなる価格を明示

取り上げた5銘柄には、買いポイントとなる価格を明示。買いポイントに到達した銘柄には、売りポイントも明らかにします。

利益の積み重ねで高いパフォーマンスを狙う

買い、売りの各ポイント価格の間で発生する利益の積み重ねを繰り返すことで、累計50%の想定パフォーマンスを目指します。

*レポートに記載された銘柄及び買い、売りポイントの価格は、指値、成行きにかかわらず、お客様に売買注文の執行、売買を指示するものではありません。投資行動におけるあらゆる最終的な判断は、お客様ご自身で行ってください。

*想定パフォーマンスの計算は、騰落率の単純加算で算出しますので、実際のパフォーマンスとは異なります。また同様の投資成果を保証するものではありません。

*お客様に投資パフォーマンスをお約束するものではありません。

*銘柄選定、目標株価はテクニカル分析から算出します。

ご提供期間

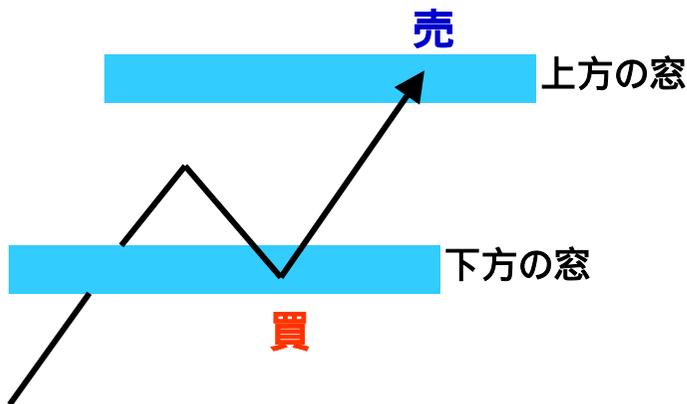
2006年2月13日から2006年3月13日まで。

東証一部時価総額上位銘柄50傑(2/13終値ベース)

| コード | 銘柄 | 2/13終値 | 時価総額(兆円) | コード | 銘柄 | 2/13終値 | 時価総額(兆円) |
|------|--------|---------|----------|------|--------|---------|----------|
| 7203 | トヨタ | 6130 | 22.1 | 6501 | 日立 | 809 | 2.7 |
| 8306 | 三菱UFJ | 1590000 | 17.1 | 8591 | オリックス | 29810 | 2.7 |
| 8411 | みずほ | 884000 | 11.7 | 4063 | 信越化 | 6070 | 2.6 |
| 8316 | 三井住友 | 1230000 | 10.3 | 9433 | KDDI | 586000 | 2.6 |
| 9437 | NTTドコモ | 175000 | 8.5 | 9022 | JR東海 | 1140000 | 2.6 |
| 8308 | りそなHD | 401000 | 8.3 | 4503 | アステラス薬 | 4440 | 2.5 |
| 9432 | NTT | 508000 | 8.0 | 8031 | 三井物 | 1560 | 2.5 |
| 3382 | 7&I-HD | 4800 | 6.5 | 9503 | 関西電 | 2525 | 2.4 |
| 7751 | キヤノン | 7010 | 6.2 | 5411 | JFEHD | 4020 | 2.4 |
| 7267 | ホンダ | 6710 | 6.2 | 6502 | 東芝 | 725 | 2.3 |
| 7201 | 日産自 | 1350 | 6.1 | 6954 | ファナック | 9400 | 2.3 |
| 6752 | 松下 | 2465 | 6.0 | 7974 | 任天堂 | 15850 | 2.2 |
| 6758 | ソニー | 5740 | 5.7 | 6753 | シャープ | 2005 | 2.2 |
| 4502 | 武田 | 6280 | 5.6 | 5405 | 住金 | 460 | 2.2 |
| 8058 | 三菱商 | 2555 | 4.3 | 1604 | 国際石開 | 1110000 | 2.1 |
| 8604 | 野村HD | 2105 | 4.1 | 9502 | 中部電 | 2815 | 2.1 |
| 4689 | ヤフー | 136000 | 4.1 | 8404 | みずほ信 | 338 | 2.1 |
| 9501 | 東電 | 2920 | 4.0 | 8752 | 三住海上 | 1359 | 2.1 |
| 6902 | デンソー | 4400 | 3.9 | 8267 | イオン | 2760 | 2.0 |
| 9984 | ソフトバンク | 3640 | 3.8 | 6971 | 京セラ | 10330 | 2.0 |
| 8766 | ミレアHD | 2120000 | 3.7 | 6301 | コマツ | 1936 | 1.9 |
| 2914 | JT | 1810000 | 3.6 | 7741 | HOYA | 4440 | 1.9 |
| 8802 | 菱地所 | 2530 | 3.3 | 4901 | 富士写 | 3730 | 1.9 |
| 9020 | JR東日本 | 815000 | 3.3 | 8801 | 三井不 | 2310 | 1.9 |
| 5401 | 新日鉄 | 406 | 2.8 | 5108 | ブリヂストン | 2290 | 1.9 |

< 投資戦略 >

「下方の窓で買い、上方の窓で売る。」



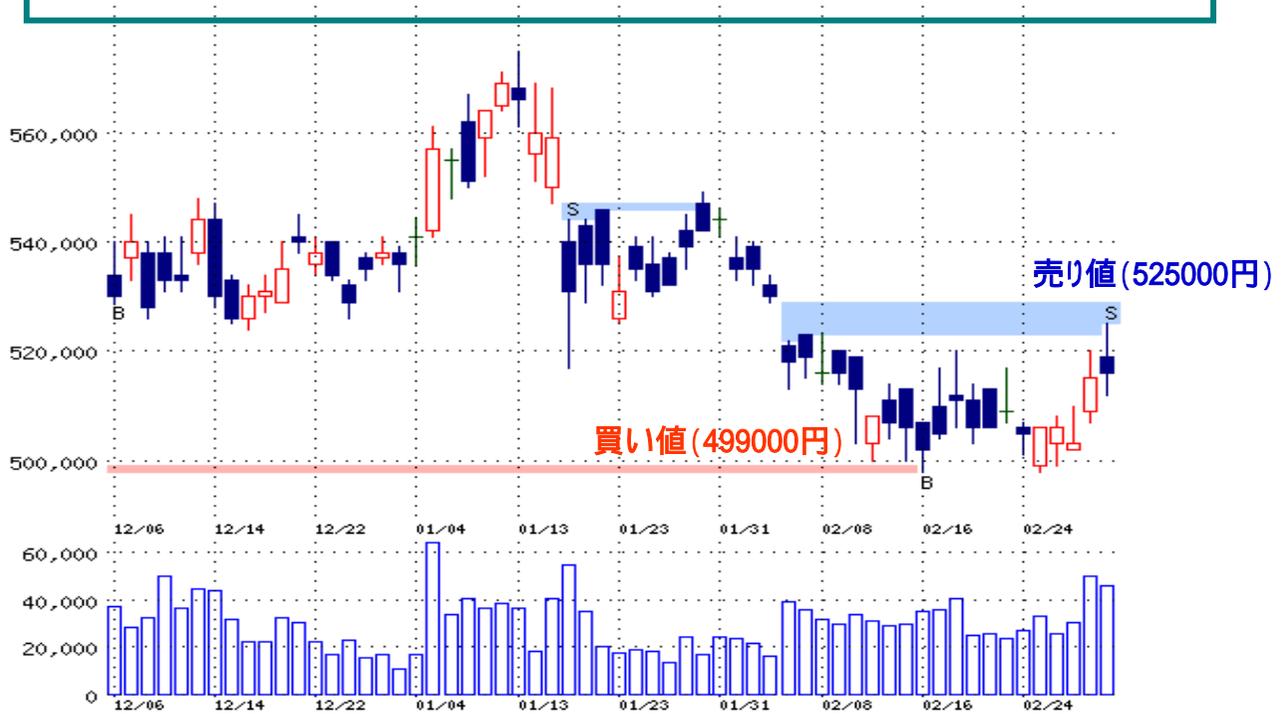
窓理論(筆者オリジナルの理論)によれば、株価は下方の窓、上方の窓を順番に埋めに行く習性がある。株式投資で儲けるためには、下方の窓を埋めたときに買い、上方の窓を埋めたときに売れば良い。当レポートでは時価総額上位組から指値の入りやすい銘柄を5つ選択。安定的なパフォーマンス向上を目指す。

■今回の注目銘柄

NTT(東1 9432)

業種:情報・通信業

3/3終値:516000円



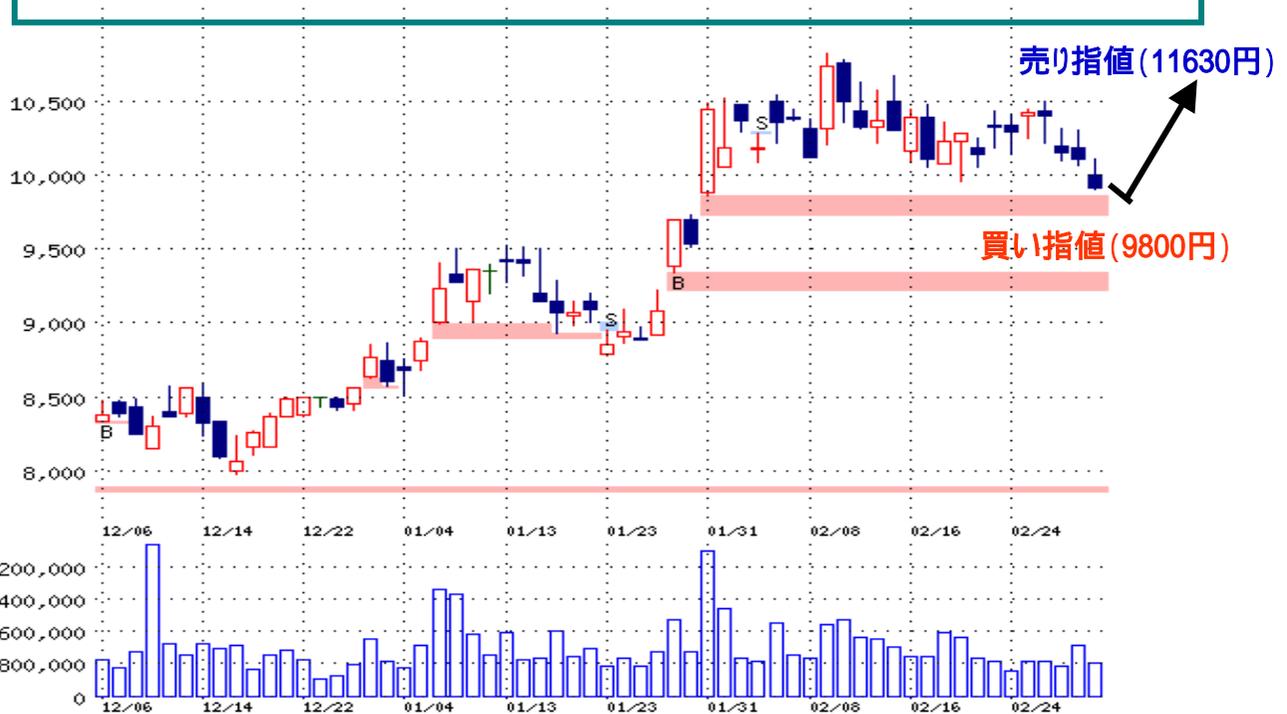
売り指値が入った。騰落率はプラス5.21%。同値で売却できなかった注文は、週初の寄り付きで売却。

■今回の注目銘柄

京セラ(東1 6971)

業種:電気機器

3/3終値:9910円



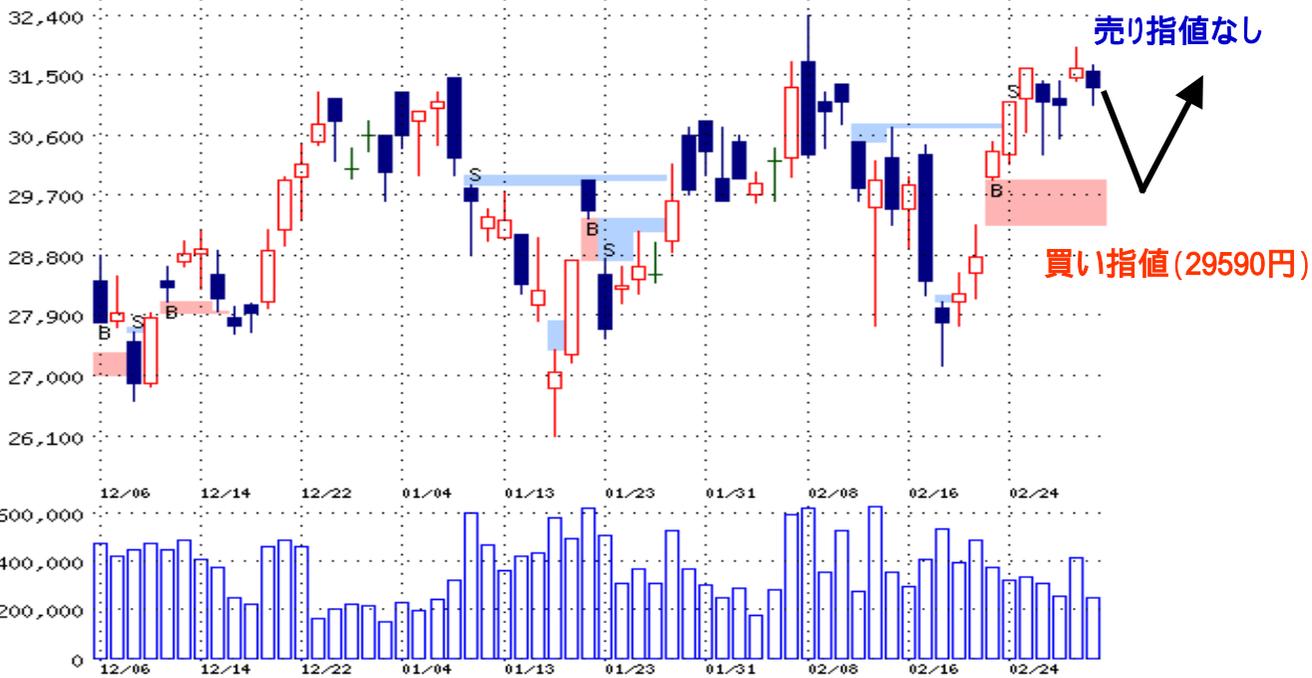
軟調推移。下方の窓に接近しており、先安観の強いチャート形状となっている。ローソク足では上ひげが出現しており、これで買い指値が入る可能性は一段と高まった。

■今回の注目銘柄

オリックス(東1 8591)

業種:その他金融業

3/3終値:31300円



小幅反落。上値の重さを示唆しており、目先下方の窓に向けて急速に調整色を強める可能性がある。買い指値は継続としたい。

■今回の注目銘柄

信越化(東1 4063)

業種:化学

3/3終値:5810円



一段と下落歩調を強めているが、週末の下落で窓は出現せず。弱気転換していないと考えたい。ここから急反発する可能性があり、売り指値が入るのは十分可能であると思われる。

■今回の注目銘柄

JT (東1 2914)

業種: 食料品

3/3終値: 1940000円



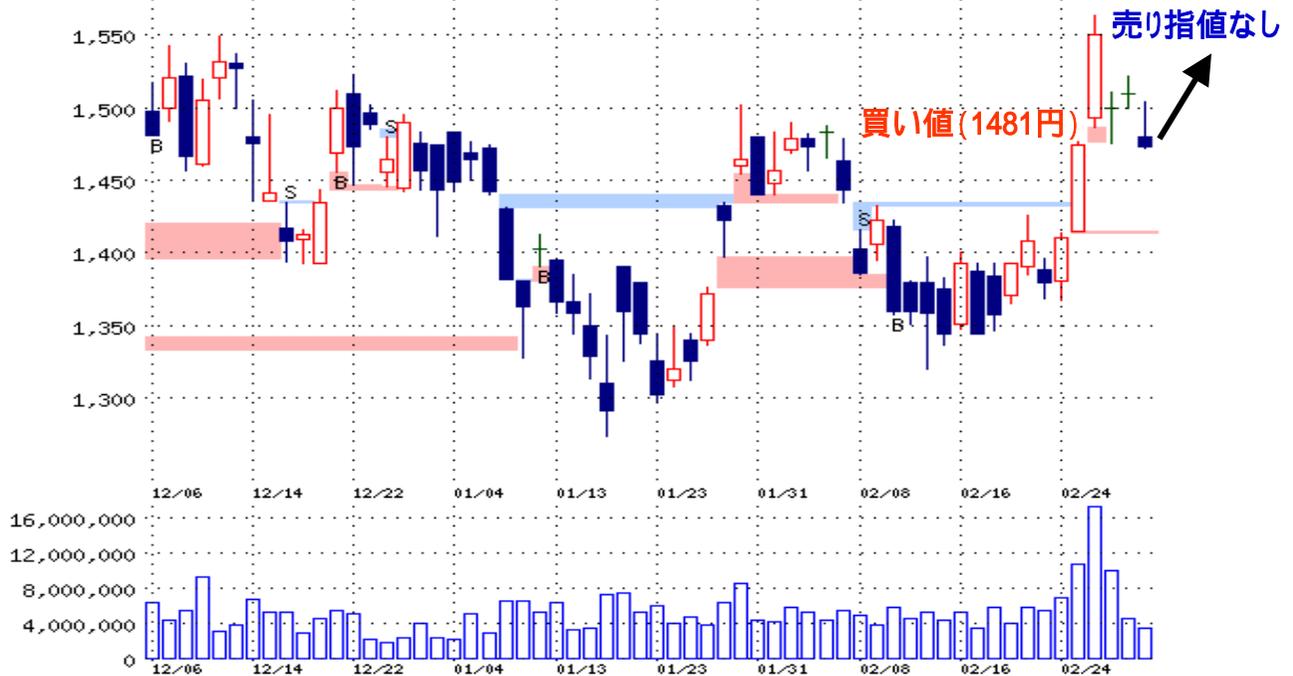
反発。下方の窓を埋めることを拒否する動きとなっており、潜在的な上昇力が大きい可能性がある。高値からの値幅調整も終了したようで、容易に高値を突破することは可能であると考えたい。

■今回の注目銘柄

三住海上(東1 8752)

業種: 保険業

3/3終値: 1473円

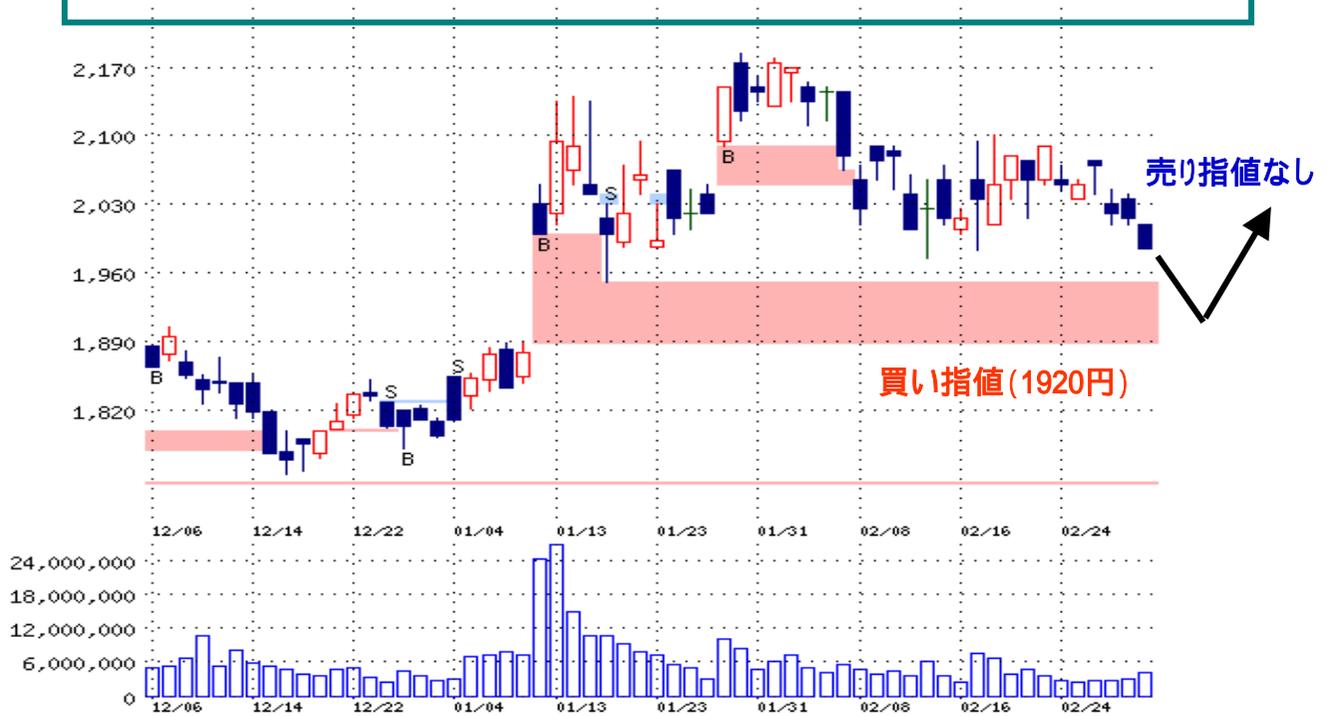


高値からの調整が不十分だったようで、上値の重い展開を強いられている。さらに下ブレする可能性があり、警戒感を強める必要があるようだ。ただ、「窓理論」では強気を継続しており、ここから急速に切り返す展開も十分にありえると考えたい。

■ 今回の注目銘柄
シャープ(東1 6753)

業種: 電気機器

3/3終値: 1984円



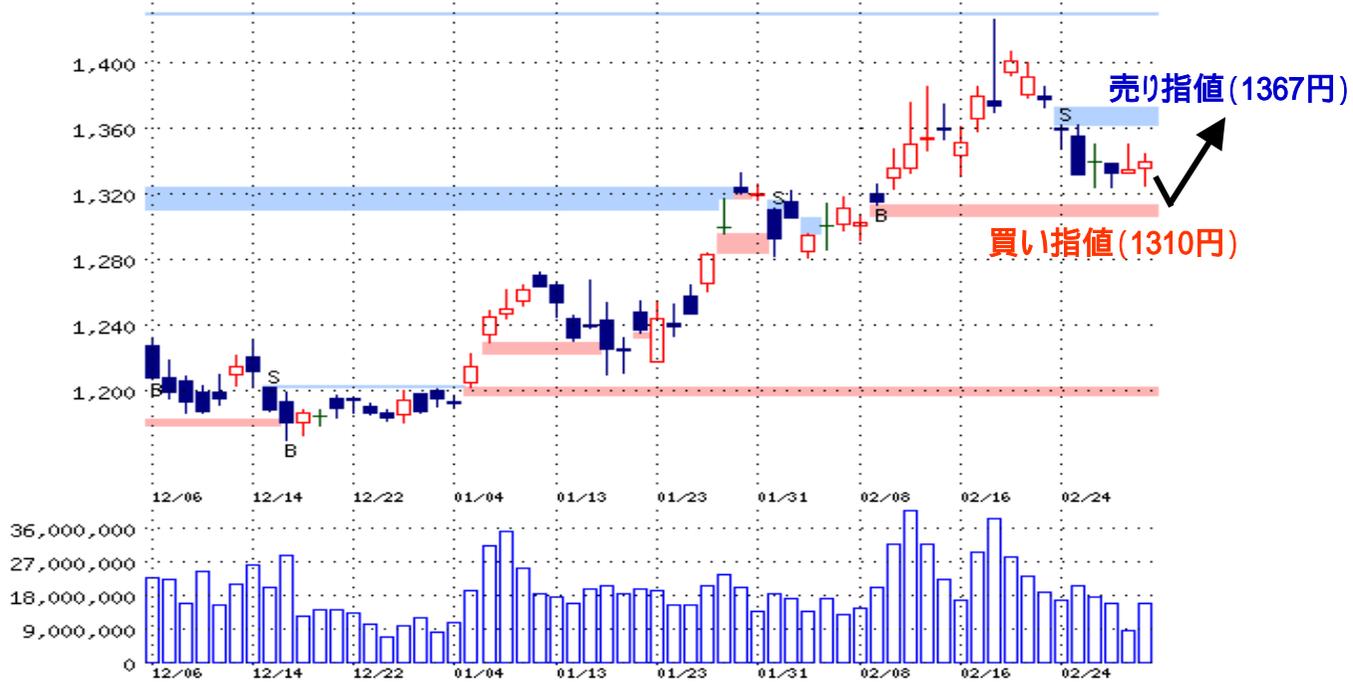
下方の大きな窓を目指す展開となっており、買い指値が入る可能性が徐々に高まってきた。窓が株価を引き寄せる力は大きく、指値が入るのは時間の問題であると思われる。

■今回の注目銘柄

日産自(東1 7201)

業種: 輸送用機器

3/3終値: 1340円



堅調推移。下方の窓埋めを嫌がっている感じがだが、強い方向性は感じられない。下方の窓を埋めた後、上方の窓を埋める展開を想定したい。

■今回の注目銘柄

新日鉄(東1 5401)

業種:鉄鋼

3/3終値:457円



1円差で買い指値が入らず。しかし、上値の重さは明確であり、再度下方の窓を埋めにくる可能性はある。買い指値は継続としたい。